

平成 21 年 2 月 9 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 三 木 茂
(コード番号：3807 大証ヘラクレス)
問 い 合 せ 先：
取 締 役 管 理 本 部 長 上 中 淳 行
電 話 番 号 03 (5212) 8790 (代 表)

特別利益、特別損失の発生及び平成 20 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 12 月期において特別利益及び特別損失を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 8 月 14 日の中間決算短信にて公表いたしました平成 20 年 12 月期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益、特別損失の計上及びその内容

(1) 関係会社株式評価損

持分法適用関連会社の(株)エヌ・エヌ・エー株式、連結子会社のシグマベイスキャピタル(株)及び(株)フィスコプレイス（旧社名：(株)フィナンシャルプラス）株式の資産性につき、将来の業績を厳格に見積り、その回収可能性を保守的に検討した結果、当初想定していた収益を見込めなくなったため、特別損失を計上いたします。

また、(株)フィスコ コモディティー株式につき、事業計画の遅れにより債務超過の状態が継続しており、早期の業績回復が見込めないとの判断から、特別損失を計上いたします。この結果、特別損失の計上額は以下ようになります。

個別：関係会社株式評価損 472 百万円(うち 240 百万円は平成 20 年 12 月期中間期に計上済)

当該評価減のうち、(株)フィスコ コモディティー株式に係る評価損につきましては、相殺消去されるため、連結数値に与える影響はなく、連結においては以下のような計上額となります。

連結：持分法による投資損失 241 百万円(うち 177 百万円は平成 20 年 12 月期中間期に計上済)

のれん減損損失 66 百万円(うち 51 百万円は平成 20 年 12 月期中間期に計上済)

(2) 保有資産の減損

国内株式市場の市況悪化が一段と進み、特に個人向けサービス事業の低迷が続いていることから、当社及び(株)フィスコプレイスが保有するソフトウェア、器具及び備品につき、将来の収益性を慎重に見積もった結果、下記減損処理を行います。

連結：92百万円（うち46百万円は平成20年12月期中間期に計上済）

個別：78百万円（うち38百万円は平成20年12月期中間期に計上済）

（3）投資有価証券評価損

当社グループの保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復見込みがあると認められない株式を減損処理した結果、以下の投資有価証券評価損を計上いたします。

連結：49百万円（うち22百万円は平成20年12月期第3四半期に計上済）

個別：19百万円（平成20年12月期第3四半期に全額計上済）

（4）投資有価証券売却益（連結）及び投資有価証券売却損（個別）

当連結会計年度において、連結子会社から持分法適用関連会社となっていたTAKMAキャピタル(株)につき、同社事業のさらなる拡大のため、同社株式及び同社新株予約権を譲渡いたしました。連結上においては、既に持分法適用により相当の減額処理を行っているため、以下の特別利益を計上いたします。個別においては取得価額で評価しておりましたので、特別損失を計上いたしません。

連結：投資有価証券売却益 15百万円

個別：投資有価証券売却損 56百万円（新株予約権の譲渡による損失1百万円を含む）

（5）棚卸資産評価損

当連結会計年度において、連結子会社シグマベイスキャピタル(株)の保有する棚卸資産について「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用し、簿価の切下げを実施した結果、以下の棚卸資産評価損を計上いたします。

連結：16百万円

（6）投資損失引当金の計上

連結子会社シグマベイスキャピタル(株)の財政状態を勘案し、特別損失として以下の投資損失引当金繰入額を計上いたします。なお、連結数値に与える影響はありません。

個別：16百万円

（7）貸倒引当金の計上

連結子会社(株)フィスコプレイスに対する債権額に対し、同社の財政状態を勘案し、特別損失として以下の貸倒引当金繰入額を計上いたします。なお、連結数値に与える影響はありません。

個別：10百万円

2. 通期業績予想の修正（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	1,310	185	236	432	13,089円53銭
今回修正予想（B）	1,244	147	236	613	18,567円97銭
増減額（B - A）	66	37	0	180	5,478円45銭
増減率（%）	5.1	-	-	-	-
<ご参考>前期実績 （平成 19 年 12 月期）	1,083	166	196	76	2,325円55銭

個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	1,004	61	63	337	10,229円59銭
今回修正予想（B）	940	32	36	697	21,119円42銭
増減額（B - A）	64	28	27	359	10,889円83銭
増減率（%）	6.4	-	-	-	-
<ご参考>前期実績 （平成 19 年 12 月期）	968	23	25	12	366円96銭

3. 通期業績予想修正の理由

（1）連結

連結業績につきましては、当社の売上高が伸び悩んでいることから前回予想を若干下回る見込みであります。

営業利益、経常利益における変動要因は、下記「（2）個別」に記載いたしましたとおり、当社における営業費用の低減により前回予想より改善し、営業損失 147 百万円、経常損失 236 百万円となる見通しです。

当期純利益につきましては、前述の特別損失計上の影響により、613 百万円の当期純損失となる見通しです。

（2）個別

個別業績につきましては、売上高が前回予想を若干下回る見込みであります。営業利益、経常利益においては、売上が当初計画に比して下回って推移していることから、変動費が低減したこと、また、費用対効果を見極めたコスト管理を実施し、経費節減に努めた結果、営業損失 32 百万円、経常損失 36 百万円となる見通しです。

当期純利益につきましては、前述の特別損失の計上により、697 百万円の当期純損失となる見通しです。

以上



(注)上記業績予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、多分に不確実な要因を含んでおり、実際の業績は今後の様々な要因によって業績予想と異なる結果になる可能性があることを予めご承知おきください。